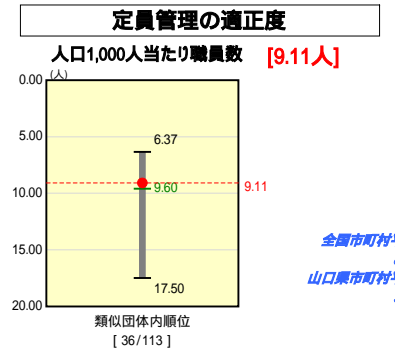
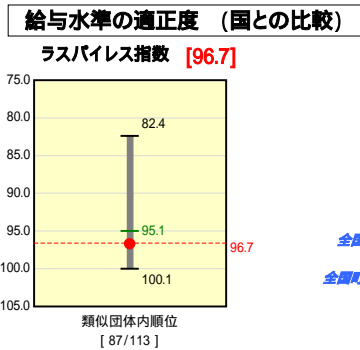
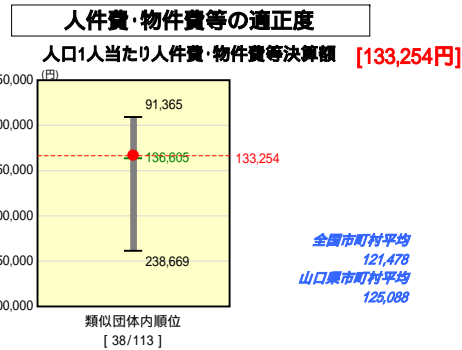
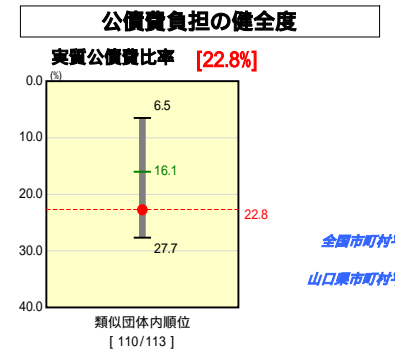
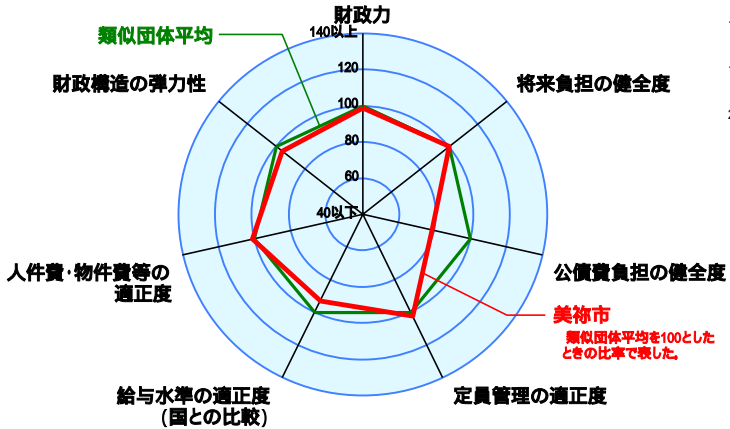
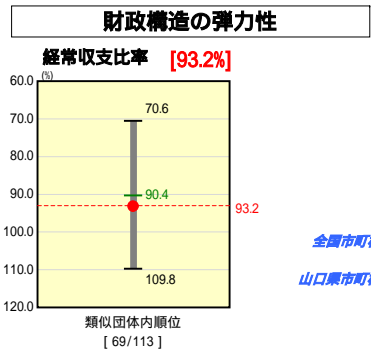
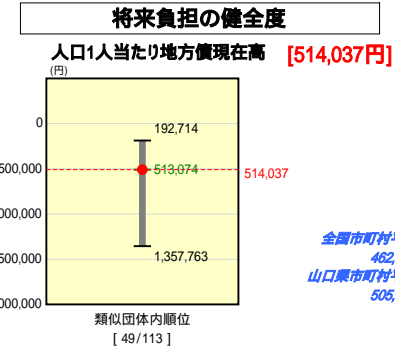
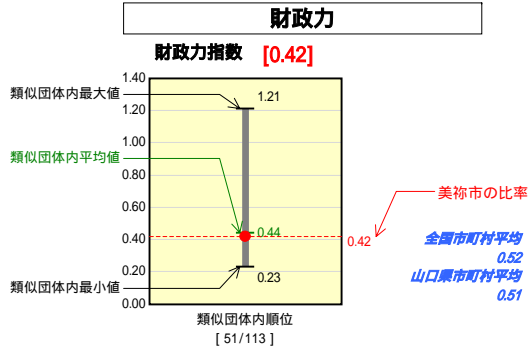


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

山口県 美祿市

人口	18,105	人(H18.3.31現在)
面積	228.25	km ²
歳入総額	9,493,736	千円
歳出総額	9,303,087	千円
実質収支	74,016	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数： 少子・高齢化、さらには、過疎化が進展しており、自主財源が乏しく、地方交付税等への依存度が高くなっているが、地方税の徴収強化等の取組みを通じて財政基盤の強化に努める。

経常収支比率： 近年、市債の発行抑制を図ってきたことによる公債費の減少に伴い対前年度比 0.3%となった。今後も、集中改革プランに沿い、徹底した行財政改革を推進し、義務的経費の削減に努める。

1人当たり人件費・物件費等決算額： 類似団体平均と同水準にある。指定管理者制度の導入を推進し、コストの削減とサービスの向上を図る等、引き続き人件費・物件費等の適正化を図る。

ラスパイレズ指数： 国に準じた給与構造の見直しを図り、高齢者職員の昇給制度の抑制、各種手当等の見直し等の実施を行ってきたが、類似団体の中では、平均を1.6上回る水準にある。今後においても総人件費の縮減に努め、職務や能力・実績を反映できる給与制度の構築等により、より一層の給与の適正化を図る。

人口1人当たり地方債現在高： 普通建設事業の抑制に併せ、市債発行の抑制を図ったこともあり、地方債残高は減少傾向にある。今後も、プライマリーバランスに留意し、また世代間の負担の公平性を斟酌し、市債の発行を行う。

実質公債費比率： 公共下水道事業や病院等の社会資本整備にかかる起債の償還に対する一般会計からの繰入金等により類似団体平均を上回っている。今後は、市債の償還額が減少傾向にあるため、新たな起債を適正規模に抑制することにより、改善される見込みである。

人口1,000人当たり職員数： 定員管理適正化計画に基づく定年退職者の不補充や民間委託の推進等により、類似団体平均をわずかに上回るものの同水準にある。今後とも適正な人員管理に努め、更なる効率化の促進を図り、職員数において、平成17年度から平成22年度の間に12名の純減を図る。